

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○変化の激しい社会を、たくましく生きていく力を育て、多様性を意識させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導を充実し、主体的に取り組む授業を実践します。 ・コミュニケーションを通して、認め合う優しさを育てます。 ・体験学習や地域行事の参加など、社会や地域の理解を深めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組		
豊かな心	<p>①実生活に即した「特別な教科道徳」の実施。 ②気づきや思考を重視した人権意識を育むため、人権作文や人権標語への参加。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">担当</td> <td style="width: 50%;">道徳・人権</td> </tr> </table>	担当	道徳・人権	
担当	道徳・人権		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の生徒は、全般的に明るく元気よく活動し、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組んでいる。また様々な学校行事を通して、目標に向かって努力し成し遂げた時の達成感を体験している。その一方で普段の学校生活の場面では、友人や仲間との交友関係において、相手の気持ちや立場を考えて行動する力が弱い面もみられる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・グループ討議(語り合い)を取り入れ、教師が話し過ぎないように留意する。
- ・語り合いによって、他者の考えを聞き入れて自分なりの結論を導かせる。
- ・子どもたちが自分なりに納得して、印象に残る授業を展開する。
- ・ローテーション道徳を実施して、『考え、議論する道徳』の実践について授業力の向上につなげる、

【項目 横浜の時間】体験活動の充実、豊かな感性や情緒の育成

- ・校外学習を通して、自ら学び協力する心を育てる。
 - 1, 自然教室：豊かな自然に触れ、様々な体験をする。
 - 2, 東京遠足：班活動を通して、自己の責任と役割を認識し、仲間との協調性・協力性を養う。
 - 3, 修学旅行：歴史や文化遺産に触れ、日本の文化や伝統について学ぶ。
- ・職場体験学習を通して、働くことの意味や役割について考え、生き方について学ぶ。
- ・文化発表会における合唱コンクールでは、仲間との協調性や協力性を養い、目標に向かって努力し成し遂げたときの達成感を学ぶ。
- ・毎日の読書体験を通して、主体的に読書に親しむ習慣を身に付け、表現力や創造力を高める。